

[令和4年度第1回港区区政会議全体会議]

「未来と世界にひらくまち・港区～未来志向のまちづくり～」

港区長 山口照美

1. はじめに

2. 港区の現状 「防災を含めた課題(解決)最先端エリア」

人口7万9,405人(2022年7月1日現在) / 面積.7.9平方キロメートル

① 少子高齢化の最先端

② 津波防災の最先端

③ 公民連携の最先端

3. 「未来志向(バックキャスティング)」で考えるまちづくり

◎「大阪市港区まちづくりビジョン」(H24策定・R4年度一部改定)の5つの柱

⇒ 「暮らして楽しい」「遊んで楽しい」「働いて楽しい」まち港区をめざす

- 1 区民主体のまちづくり
- 2 安全・安心・快適なまちづくり
- 3 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり
- 4 「子どもの学び」と「子育て世代」を応援するまちづくり
- 5 訪れたい魅力と活気あふれるまちづくり

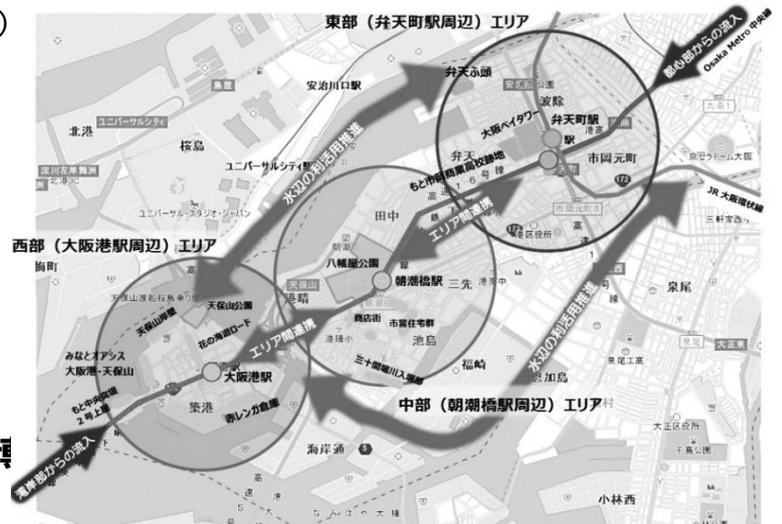
理想を実現するために「今」できることを、それぞれの持ち場でやることで、まちは変わる

◎「エリア別活性化プラン」(R3年度策定)

港区を東部(弁天町駅周辺)エリア、中部(朝潮橋駅周辺)エリア、西部(大阪港駅周辺エリア)に分け、互いに連携しながら持続可能なまちづくり(SDGsの理念を実現するまちづくり)を進めていくための計画。



港区のエリア間連携のイメージ図



4. 「2022から2025年

《大前提》ひとりも取りこぼさない港区「み(ん)などマインド」

- ⇒行政の役割はセーフティネットであることが大前提
- ⇒防災の必要なまちとして要援護者の個別避難計画策定や啓発に努める
- ⇒不登校対策・児童虐待防止・若者支援に産官学地域連携で取り組む

◎「未来と世界にひらくまち・港区」

【未来にひらく】

- ・みなと先端技術推進協議会をプラットフォームとする「最先端技術の実験場」
- ・みなと地域マネジメント協議会をプラットフォームとする「多様な区民が参画するまちづくり」
⇒交流会館(仮)のオープンや区政100周年を機会に区民の交流や市民活動を活性化
- ・「港区産業推進協議会」を軸とした町工場の技術による社会課題の解決と産業振興
- ・「シニアスマートシティ・みなと」⇒多世代でIT機器を使いこなし、生活の質を向上する

【世界にひらく】

- ・多文化共生のまちづくり ⇒「やさしい日本語」をきっかけに多文化の力がつながるまちづくり
- ・世界に向けたシティプロモーション「みなとの下剋上」 で
⇒世界中の人が訪れ、また来たいと思える「世界のMINATO」を目指す
- ・グローバルな社会で生きていく「港っ子」たちに生きる力を育む教育環境の実現

未来と世界にひらくまち・港区の実現のために、「今」やれることを始めよう

……ご理解・ご協力をお願いします!

《参考図書・サイトなど》

- ・港区役所公式 Twitter⇒ <https://twitter.com/minatokuyakusyo>
- ・港区たんけん手帳⇒ <https://www.city.osaka.lg.jp/minato/page/0000568555.html>
- ・『認知症世界の歩き方』(寛裕介/ライツ社) ・『リエゾン1~9巻』(ヨンチャン・竹村優作/講談社)
- ・『壁を壊すケア「気にかけてあう街」をつくる』(井手英策/岩波書店)
- ・『ポर्टランドー世界で一番住みたい街をつくる』(山崎満広/学芸出版社)
- ・『新 移民時代 外国人労働者と共に生きる社会へ』(西日本新聞社/明石書店)